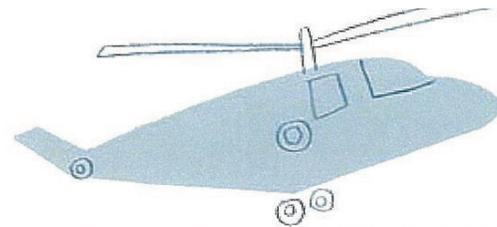


①

自分のうちは自分で守るのが基本。
お隣りさんは他人の家のことまで
考えてはくれない。
国民の命と財産を守るのは、
国にとってもっとも大切なこと。
防衛の自立がなくては、
国家と国民の自立はない。
いまの日本は防衛を
アメリカに大きく頼っている。
もっと自立した防衛力を
身につけることが大事。
自分で自分を守れないと、
いざというときに
他人も助けられないから。



日本のまわりには、

北朝鮮という核兵器を持つ敵対的な軍事国家がある。

中国は経済的にはパートナーだけど、

彼らの軍事費の伸びは異常なペース。

日本が富国強兵を必死になって進めていた

日清・日露戦争の時代でも軍事費の伸びは10%くらい。

いまの中国の軍事費は

それを上回る年率15%以上で伸びている。

宇宙空間で人工衛星を

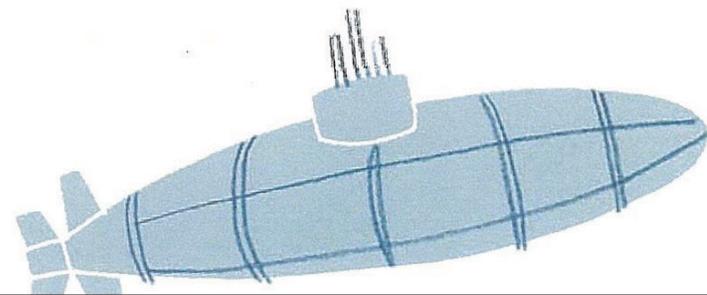
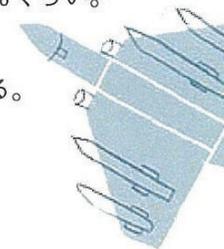
撃ち落とす実験もしているし、

数年後には

空母や攻撃型原子力潜水艦もつくるという。

空母や潜水艦は移動する軍事基地のようなもの。

中国の軍事的な脅威は高まる一方である。



②

**こうした脅威から日本を守るには、
自分の国は自分で守るという
自主防衛の国民的同意の確立が先決。
そのうえで同盟国との
パートナーシップを築こう。**

日本の安全にとっていちばん大切なパートナーは、
やはりアメリカだ。

なぜならば、自由、民主主義、人権尊重など、
互いに共通する価値観を持っているから。

日米同盟はこれからも大事にしなくてはならない。
しかし「何かあったら守ってください」という
一方的な関係を、いつまで続けるのだろう。

日米同盟は互いに助け合う
真のパートナーにならなくては。

